

令和 7 年度

【令和 6 年度事業】

大和高田市の教育に関する
事務の管理及び執行の点検評価報告書

令和 7 年 9 月

大和高田市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条第 1 項の規定に基づき、令和 7 年度（令和 6 年度事業）大和高田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の結果を報告いたします。

令和 7 年 9 月 8 日

大和高田市教育委員会
教育長 安川 禎亮

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律[抜粋]

（平成 20 年 4 月 1 日施行）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

1	教育委員会の活動状況	
	(1) 教育委員会会議の開催状況	1
	(2) 教育委員会会議以外の活動状況	3
2	教育予算の執行に関する状況	5
3	主要な事業の点検・評価	
	(1) 1次評価の概要	5
	(2) 2次評価の概要	6
4	有識者の意見	
	◎有識者の意見の聴取及び概要	7
5	総括	9
6	【別表1】大和高田市まちづくりの指針の体系	10
7	【別表2】事業の評価一覧	11
8	事業の概要と点検・評価	13

点検評価の概要

大和高田市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条第 1 項の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検・評価を実施しております。

令和 6 年度の事業についても、教育委員会の活動、教育予算の執行、主要な事業の執行等について点検・評価を実施し、外部有識者にご意見をいただき報告書にまとめました。

1 教育委員会の活動状況

（1）教育委員会会議の開催状況

教育委員会は、毎月 1 回の定例委員会と必要の都度臨時委員会を開催し、教育長及び 4 名の教育委員により、教育行政に関する諸施策について審議を行った。定例、臨時委員会における付議案件の件数及び内容については、次のとおりである。

開催日	定例／臨時	案 件
4 月 22 日 (月)	定 例	・ 大和高田市指定文化財の新規指定について ・ 令和 6 年度大和高田市青少年補導会感謝状授与について 他、後援願 6 件、報告事項 1 件、令和 6 年度の主な事業について、本市における教育課題について
5 月 27 日 (月)	定 例	・ 学校運営協議会設置通知書の発令及び学校運営協議会委員の任命について 他、後援願 3 件、報告事項 1 件、本市における教育課題について
6 月 24 日 (月)	定 例	・ 学校運営協議会設置通知書の発令及び学校運営協議会委員の任命について ・ 教育長臨時決裁の報告について 他、後援願 7 件、報告事項 3 件、本市における教育課題について
7 月 22 日 (月)	定 例	・ 大和高田市視聴覚ライブラリーの設置及び運営に関する規則を廃止する規則（案）について 他、後援願 3 件、報告事項 1 件、本市における教育課題について

8 月 16 日 (金)	定 例	・ 学校運営協議会設置通知書の発令及び学校運営協議会委員の任命について ・ 教育に関する事務の管理及び執行の点検評価について 他、後援願 6 件、報告事項 2 件、本市における教育課題について
8 月 16 日 (金)	臨 時	・ 令和 7 年度以降使用中学校教科用図書の採択について
9 月 30 日 (月)	定 例	・ 令和 6 年度教育委員会表彰について ・ 大和高田市実費徴収に係る補足給付事業実施要綱の一部を改正する告示（案）について 他、後援願 11 件、本市における教育課題について
10 月 23 日 (水)	定 例	・ 大和高田市立高田商業高等学校授業料等徴収条例の一部を改正する条例（案）について ・ 大和高田市教育委員会に対する事務委任規則の一部を改正する規則（案）について ・ 大和高田市立高田商業高等学校授業料等減免等規則の一部を改正する規則（案）について ・ 職員の併任について 他、後援願 2 件、報告事項 1 件、本市における教育課題について
11 月 28 日 (木)	定 例	・ 令和 6 年度大和高田市立学校外国人講師派遣業務プロポーザル選定委員会設置要綱（案）について ・ 学校運営協議会委員の追加任命について 他、後援願 3 件、報告事項 4 件、本市における教育課題について
12 月 24 日 (火)	定 例	後援願 1 件 他、報告事項 1 件、本市における教育課題について
1 月 27 日 (月)	定 例	・ 学校運営協議会委員の任命について 他、報告事項 2 件、本市における教育課題について
2 月 26 日 (水)	定 例	・ 大和高田市就学指導委員会規則の一部を改正する規則（案）について ・ 職員の併任について ・ 教職員の処分について 他、後援願 2 件、報告事項 3 件、本市における教育課題について
3 月 12 日 (水)	臨 時	・ 教育職員人事について

3月24日 (月)	定 例	・令和7年度大和高田スカウト運動育成協会感謝状授与について ・大和高田市・葛城コミュニティセンター条例施行規則の一部を改正する規則（案）について ・職員の人事について 他、後援願4件、報告事項1件、本市における教育課題について
--------------	-----	---

(2) 教育委員会会議以外の活動状況

学校訪問や各行事に参加し、教育の振興に努めた。出席状況は次のとおりである。

○ 学校訪問

実 施 日	訪 問 校 ・ 園
5月13日(月)	浮孔西幼稚園・浮孔西小学校
5月21日(火)	菅原幼稚園・菅原小学校
5月22日(水)	片塩幼稚園・片塩小学校
5月24日(金)	陵西幼稚園・陵西小学校
5月30日(木)	高田中学校・高田西中学校
5月31日(金)	高田商業高等学校
6月 3日(月)	高田小学校・磐園幼稚園・磐園小学校
6月 4日(火)	片塩中学校・浮孔幼稚園
6月 5日(水)	土庫小学校
6月 7日(金)	浮孔小学校

○ 主な行事

開 催 日	行 事 名
4月 9日(火)	高田商業高等学校入学式
4月10日(水)	小学校入学式
4月11日(木)	中学校入学式
4月12日(金)	幼稚園入園式
4月16日(火)	奈良県都市教育長協議会

4月21日(日)	高田日本画会展及び表彰式
4月25(木)・26(金)	近畿都市教育長協議会定期総会
4月29日(月)	スカウト運動育成協会総会
5月9(木)・10(金)	全国都市教育長協議会定期総会・研究大会
5月12日(日)	高田洋画会展及び表彰式
5月25日(土)	青少年補導会委嘱式・総会
5月28日(火)	奈良県市町村教育委員会連合会役員会
6月27日(木)	市町村教育委員会研究協議会
7月1日(月)	「青少年非行・被害防止強調月間」街頭啓発
7月8日(月)	市いじめ問題対策連絡協議会
〃	社会教育委員会議
7月11日(木)	市いじめ対策委員会
7月20日(土)	大和高田市PTA集会
8月5日(月)	奈良県都市教育長協議会
8月26日(月)	学校・地域パートナーシップ事業運営委員会
9月13日(金)	市町村教育委員会研究協議会
10月21日(月)	「図書館を使った調べる学習」地域コンクール審査会
〃	奈良県都市教育長協議会
10月22日(火)	就学指導委員会
10月24(木)・25(金)	近畿都市教育長協議会研究協議会
11月3日(日)	選奨式
11月6日(水)	教育委員会表彰式
11月10日(日)	大和高田市コーラスのつどい
11月13日(水)	奈良県市町村教育委員会研修大会
11月17日(日)	大和高田市美術展覧会表彰式
11月18日(月)	市町村教育長会議
11月20日(水)	幼児教育研究部会研究大会
12月1日(日)	「図書館を使った調べる学習」地域コンクール表彰式
1月12日(日)	20歳を祝う会
1月16日(木)	市町村教育委員会研究協議会
1月18日(土)	大和高田スカウト運動育成協会新年祝賀会
2月14日(金)	奈良県都市教育長協議会
2月17日(月)	学校・地域パートナーシップ事業運営委員会並びに成果報告会

2 教育予算の執行に関する状況

令和6年度の教育費予算は、25億8,355万1千円で前年比8.0%の増であった。また、決算額は24億7,310万3千円で、前年比8.6%の増である。増加の主な原因は、教育施設の老朽化による修繕等にかかる費用の増加及び物価高騰による支出額の増加によるものである。

教育予算全体での予算額に対する執行率は95.7%で、概ね予定どおりの予算執行であった。

	令和5年度		令和6年度		(単位：千円) 増減額	
	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
1 教育総務費	474,591	443,694	538,052	505,168	63,461	61,474
2 小学校費	250,978	234,678	287,690	272,787	36,712	38,109
3 中学校費	169,978	155,118	177,618	168,961	7,640	13,843
4 高等学校費	410,040	403,096	434,139	423,162	24,099	20,066
5 幼稚園費	308,860	297,671	349,721	331,814	40,861	34,143
6 社会教育費	253,072	236,756	268,365	258,405	15,293	21,649
7 保健体育費	523,892	505,306	527,966	512,808	4,074	7,502
合計	2,391,411	2,276,319	2,583,551	2,473,105	192,140	196,786

3 主要な事業の点検・評価

「大和高田市まちづくりの指針」第2章「将来都市像と基本目標」に掲げた教育関連施策に該当する事業（【別表1】参照）より、主要な27事業を対象とし、各担当課における1次評価、部局における2次評価を行い、自己評価の精度の向上を図るとともに、外部有識者による意見を活用し、報告書にまとめた。なお、評価及びその基準は、次のとおりである。

(1) 1次評価の概要

各担当課において、事務事業評価シートにより、事業の妥当性、有効性、効率性の3項目について、それぞれ4段階の項目別評価（評価が高い、評価がやや高い、普通、評価がやや低い）を行い、それを基に総合的な評価として1次評価を行った。1次評価の結果、「当初の計画を上回って進捗し、特に大きな成果があった」と評価された事業が9事業、「当初の計画通りに執行、成果があっ

た」と評価された事業が 18 事業、「当初の計画どおりに執行できたが、改善の余地がある」と評価された事業及び「計画どおりに執行できず、課題が残った」と評価された事業はなかった。

評価	基 準	事業数
A	当初の計画を上回って進捗し、特に大きな成果があった	9 事業
B	当初の計画どおりに執行、成果があった	18 事業
C	当初の計画どおりに執行できたが、改善の余地がある	0 事業
D	計画どおりに執行できず、課題が残った	0 事業
合 計		27 事業

(2) 2 次評価の概要

各担当課による 1 次評価の結果を基に、教育委員会内に 2 次評価組織を設置し、1 次評価の検証並びに 2 次評価を行い、修正すべき点については修正を加えた。2 次評価の結果、「当初の計画を上回って進捗し、特に大きな成果があった」と評価された事業は 2 事業で、「当初の計画どおりに執行、成果があった」と評価された事業が 25 事業、「当初の計画どおりに執行できたが、改善の余地がある」と評価された事業及び「計画どおりに執行できず、課題が残った」と評価された事業はなかった。

評価	基 準	事業数
A	当初の計画を上回って進捗し、特に大きな成果があった	2 事業
B	当初の計画どおりに執行、成果があった	25 事業
C	当初の計画どおりに執行できたが、改善の余地がある	0 事業
D	計画どおりに執行できず、課題が残った	0 事業
合 計		27 事業

(各事業の評価は、別表 2 参照)

4 有識者の意見

◎有識者の意見の聴取及び概要

教育に関し学識経験を有する者2名を教育委員会において選任し、2次評価後の各事業について、意見をいただいた。各評価に対する意見は次のとおりである。

① 小・中学校施設整備事業

- ◆令和7年度予算が大きく減少しているのは、令和7年度ICT環境整備事業予算増との兼ね合いによるものか。

【教育総務課より】

令和7年度においては、全庁的に予算の減額が行われているため、教育部の各事業においても減額が行われている。学校施設においては老朽化も見られるが、学校の再編統合を考慮した上で施設整備を行う必要があることから、修理等に優先順位をつけ、上位のものから予算化したためである。

- ◆他市では廊下とトイレの照明が人感センサーとなっているところやLED化されているところがある。近い将来、蛍光灯の生産が止まり、照明のLED化を計画的・段階的に進めると、長期的には大きなコスト削減につながり、業務改善や防犯にも有効かつ児童・生徒による照明の消し忘れについても節電できるのではないか。

【教育総務課より】

学校施設の照明機器については、費用対効果や現機器の対応年数、今後の学校再編等を考慮しながら、慎重に進めていきたい。

② 中央公民館管理運営事業および中央公民館定期講座運営事業

- ◆中央公民館定期講座運営事業の利用者数について、令和5年度は減少傾向で、令和6年度に回復しているが、中央公民館管理運営事業においては令和6年度の利用者数が大きく減少しているのはなぜか。

【生涯学習課より】

中央公民館は本市施設マネジメント検討委員会で使用を停止すべき施設として挙げられている。現在、その機能を他の施設に移行しているところだが、本市の社会教育を停止させないため、定期講座は他の施設も活用しながら従来どおり継続して実施し、自主講座の利用者を他の施設に順次移行していることから、定期講座の参加人数は増加し、中央公民館の利用者数は減少している。

③ 幼児教育の充実について

- ◆ 幼稚園の預かり保育について、夏休み期間の開始時間が 9 時からとなっている。もう少し早くすることはできないか。

【学校教育課より】

幼稚園の夏休み期間の預かり保育について、現在、8 時 40 分から 17 時 00 分までの時間で運用している。通常の幼稚園の登園時間が 8 時 30 分から 8 時 40 分となっており、なるべく同じ時間帯で運用している。

市内の幼稚園の運営については、今後も市民の方の要望を把握しながら検討を進めたい。

④ 教育行政全般について

- ◆ 厳しい財政状況の中、子どもたちや学校、教員の働き方のために懸命に取り組まれている。今後も大和高田市の教育が円滑に運営されることを望む。

- ◆ 幼稚園の預かり保育を充実させていただきたい。市内の幼稚園は先生方が常に子ども目線の保育・教育をして下さっており、とても良い教育環境であると感じる。園児が増加してほしいが、働く保護者が増え、預かり保育の時間が短いため、預けられないという意見をよく聞くので、園での補食（おやつ等）も含め、検討を望む。

⑤ その他

- ◆ 複雑な児童・保護者に関わる教育課題に向き合いながら、教育委員会のみならず、市役所各課が連携し、より良い教育を追求されている。大和高田市の未来を担う子どもたちのために、尽力されることを願う。

5 総括

大和高田市教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うとともに、教育委員会が選任した2名の有識者をお願いし、ご意見・感想をうかがった。

令和6年度は、教育活動がほぼ従来どおり行われるようになったが、学校施設の老朽化による修繕箇所の増加は大きな課題となっている。また、児童生徒数の減少による学校施設数等の適正化についても、市の財政状況を鑑みつつ、時間を掛けて慎重に取り組む必要がある。

有識者よりいただいたご意見を基に、教育の現状を把握するための工夫や、課題について検討し、厳しい財政状況ではあるが、限られた予算の中でより効率的・効果的な教育行政の推進に役立てたい。

6 【別表1】

大和高田市まちづくりの指針の体系

※教育委員会の事業は、主に①～③に該当する。

基本目標	基本施策	重点施策
① 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり	人権を尊重する社会の実現及び 平和を願う市民意識の醸成	
	生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備	
	国際交流の推進及び国際化社 会への対応	
② 子どもたちの笑顔あ ふれるまちづくり	教育環境の充実	若者世代・子育て世代がすみ よいまちづくり
	子育て支援体制の充実	
③ 健康でいきいきと暮 らせるまちづくり	医療体制の整備・健康づくり事 業の推進	医療・保健・福祉の充実
	地域福祉の推進	
④ 活気あふれるにぎわ いのまちづくり	地域産業の振興	産業の活性化
	農業の振興	
	観光の振興	
⑤ 安心して暮らせる快 適のまちづくり	持続可能なまちづくりの推進	
	都市基盤の整備	災害に強いまちづくり
	生活環境の整備と充実	
	安全で災害に強いまちづくり の推進	災害に強いまちづくり
⑥ 自立と協働のまちづ くり	財政基盤の確立	
	効率的な行政運営の推進	
	市民参画による協働のまちづ くりの推進	

7【別表2】

事業の評価一覧

番号	事業名	基本施策	評価	担当課
1	人権教育の推進	人権を尊重する社会の実現及び 平和を願う市民意識の醸成	B	学校教育課
2	教育委員会表彰事業	生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備	B	教育総務課
3	社会教育関係団体育成事業	生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備	B	生涯学習課
4	葛城コミュニティセンター 管理運営事業	生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備	B	生涯学習課
5	中央公民館定期講座運営事業	生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備	B	生涯学習課
6	中央公民館管理運営事業	生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備	B	生涯学習課
7	文化財保護事業	生涯学習機会の充実・文化活動 の推進・スポーツ環境の整備	B	生涯学習課
8	幼稚園備品整備事業	教育環境の充実	B	教育総務課
9	幼稚園施設整備事業	教育環境の充実	B	教育総務課
10	小・中学校備品整備事業	教育環境の充実	B	教育総務課
11	小・中学校施設整備事業	教育環境の充実	B	教育総務課
12	教育 I C T 環境整備事業	教育環境の充実	B	教育総務課
13	学校給食業務	教育環境の充実	B	教育総務課

番号	事業名	基本施策	評価	担当課
14	特別支援教育	教育環境の充実	B	学校教育課
15	外国人講師派遣事業	教育環境の充実	B	学校教育課
16	幼児教育の充実	教育環境の充実	B	学校教育課
17	資格取得の推進	教育環境の充実	B	学校教育課 (商業高校)
18	部活動の推進	教育環境の充実	B	学校教育課 (商業高校)
19	教育支援ルーム (かたらい教室)	教育環境の充実	A	教育支援課
20	青少年補導員活動事業	教育環境の充実	B	教育支援課
21	青少年指導員活動事業	教育環境の充実	B	教育支援課
22	教育の日・大和高田市青少年 健全育成研修会	教育環境の充実	A	教育支援課
23	青少年健全育成支援教室	教育環境の充実	B	教育支援課
24	図書館運営事業	教育環境の充実	B	生涯学習課
25	学校・地域パートナーシップ 事業	教育環境の充実	B	生涯学習課
26	就学援助および特別支援教育 就学奨励事業	子育て支援体制の充実	B	学校教育課
27	若者の居場所づくり事業	地域福祉の推進	B	教育支援課

事業の概要と点検・評価

基本目標	認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり
------	---------------------

基本施策	人権を尊重する社会の実現及び平和を願う市民意識の醸成
------	----------------------------

人権が尊重される明るく豊かな地域社会を実現するため、一人ひとりが人権を尊重する意識を持ち、自分の人権だけでなく、他人の人権も思いやるまちづくりを進めます。また、人々が笑顔であるためには、何よりも平和な社会が必要です。1985年(昭和60年)に採択した「非核・平和都市宣言」の精神に基づき、平和を願う市民意識の醸成に努めます。

事業名	人権教育の推進	担当課	学校教育課
事業の概要	人権教育の充実を図り、人権尊重の理念を育み、生命と個人の尊厳を重んじる精神の育成に努めるもので、大和高田市人権教育研究会が実施する事業を補助し、各種研修会の開催並びに各校での人権教育講演会等を実施している。		
実績等	令和5年度事業費 35,228 千円 令和6年度 " 46,057 千円 令和6年度大和高田市人権教育研究会活動状況 総会 夏期課題別研修会（3回開催、選択制で全教員が参加） 研究集会、推進委員会（毎月1回開催） 研究委員会（4回）、事務局会議（毎月2回） 人権作文集の発行 等		
点検・評価	各校から事業についての取組を報告されており、事業の目的は達成できている。人権教育研究会の研究大会では、あらゆる視点からの熱心な取組が報告されており、人権教育の深化が図られているが、人権課題は時代とともに変化するため、常に取組の成果と課題を振り返りながら、今後も事業の継続、充実が必要である。		

基本施策

生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備

市民が心豊かで生きがいを持って、よりよい人生を過ごせるように、生涯にわたって自らの人生デザインがふくらむ生涯学習機会の充実を図ります。

また、地域に伝わる伝統行事や歴史財産を守り、継承するとともに、人々に感動・誇りや生きる喜びをもたらす活動を推進し、郷土愛にあふれる未来へのまちづくり・人づくりに取り組みます。さらに、市民が健康でいきいきと暮らせるよう、生涯スポーツの啓発、環境の整備に取り組みます。

事業名	教育委員会表彰事業	担当課	教育総務課
事業の概要	大和高田市教育委員会表彰規程に基づき、大和高田市の教育・文化・芸術・スポーツの各分野において、 ・有益な研究、考案又は発明をし、教育に貢献したもの ・学校教育、社会教育又は社会体育の振興について、功績が顕著なもの ・市内の学校の児童、生徒で特に表彰することが適当と認められるもの に対して、奈良県教育週間の事業の一環として、毎年11月にさざんかホールのレストランホールにおいて賞状を授与し、その功績を顕彰する。		
実績等	令和5年度事業費 82千円 令和6年度事業費 52千円	被表彰者数 5名 “ 6名・1団体	
点検・評価	教育・文化・芸術・スポーツの各分野において、顕著な功績を残した個人・団体や他の者の模範となる者の永年の功績や経験を顕彰することにより、今後のさらなる活動の活性化を促し、本市学校教育、社会教育、社会体育の振興に貢献する事業であり、令和6年度は表彰状の制作費において経費の削減を図ることができ、概ね期待どおりの成果であった。		

事業名	社会教育関係団体育成事業	担当課	生涯学習課
事業の概要	婦人会、PTA等の社会教育団体の活動を通して会員相互の親睦を深め、地域の文化、教育の向上と地域における活動のリーダーとなる人材を育成する。 社会教育団体 地域婦人会連絡協議会 各校区婦人会より構成され、会の発展とともに、女性の教養と地位向上を図る。 PTA協議会 市内公立学校・幼稚園・こども園の各PTAにより構成され、PTA相互の連携を密にし、PTA活動の発展と学校教育の振興に努める。 美術協会 日本画、洋画、書芸、写真、陶芸、彫塑の6部門で構成、本市美術活動の推進に努める。		

実績等	令和5年度補助金 1,145 千円 会員総数 382 人 令和6年度 〃 1,403 千円 〃 415 人 令和6年度の主な事業 地域婦人会連絡協議会・・・月1回の会議、総会（書面開催） PTA協議会・・・・・・月1回の会議、総会（書面開催）、 研究大会 等 美術協会・・・・・・ 各部門別の展覧会及び美術協会展の開催、 市美術展覧会開催 在日外国人日本語講座実行委員会・・・日本語講座
	点検・評価 会員数は前年度に比べると増加している。各団体の活動のほか、市の行事等へも積極的に参加され、地域文化の向上に大きな役割を果たしており、概ね当初の計画どおりに執行できている。今後は会員数の維持も鑑み、活動内容について団体へ助言をすることも必要と考える。

事業名	葛城コミュニティセンター管理運営事業	担当課	生涯学習課
事業の概要	地域住民の文化の向上と福祉の増進を図るため、住民相互の連帯感を育成し、ふれあい豊かな場として活用するため、適正な施設の維持管理に努める。		
実績等	令和5年度事業費 18,574 千円 令和6年度 〃 17,982 千円 令和6年度の主な実績 開館日数 288 日 (288 日) 教室延べ実施回数 186 回 (183 回) 延べ受講者数 1,443 人 (1,718 人) 延べ利用者数 16,336 人 (15,449 人) () は令和5年度 令和6年度開催の教室・講座 (実施回数、延べ受講者数) 小倉百人一首かるた 12 回 103 人 実用書道 24 回 321 人 ジュニア将棋 12 回 76 人 クラフトと家庭料理 12 回 54 人 おとなのピアノ教室 30 回 126 人 デコ・アメリカンフラワー 12 回 44 人 パソコン教室 24 回 119 人 ハンドメイド ZAKKA 12 回 53 人 金曜日の料理教室 11 回 75 人 男性クッキング教室 12 回 63 人 等		

点検・評価	本市南部の文化、生涯学習の拠点として貸館や講座を行い、重要な役割を果たしている。受講者数は前年度と比べて増加しており、講座内容については利用者の満足を得ている。今後も市民の学習意欲を高め支えられるよう、内容を一層充実させるとともに、老朽化した建物の修繕を計画的に行う必要がある。
-------	---

事業名	中央公民館定期講座運営事業	担当課	生涯学習課
事業の概要	大和高田市の生涯学習の拠点として、市民の趣味や教養を高める講座を開講し、市民一人一人が生きがいのある人生を実現できるよう、1年間を通して講座活動を支援し、成果を発表する機会として、成果発表会を例年開催している。		
実績等	令和5年度事業費5,541千円 令和6年度〃5,190千円 令和6年度の主な実績 開館日数284日受講者数6,291人 (令和5年度開館日数288日受講者数4,913人) 令和6年度定期講座(年間開催回数、延べ受講者数) 日本画教室40回411人木彫教室20回80人 美術教室20回194人陶芸教室20回226人 書道教室20回252人写真教室20回229人 華道教室20回144人創作教室20回162人 茶道教室20回223人着付教室40回287人 若葉コーラス教室45回886人シルバーコーラス/ひまわり42回2,395人 中央コミュニティ学級10回295人等 令和6年度自主講座(79グループが活動) 日本画、洋画、書道、陶芸、写真、創作、英会話、舞踊、大正琴、太極拳等の自主グループ 令和6年度成果発表会参加団体総数59団体 舞台発表18団体コーラス、大正琴、詩吟、民踊、ダンス、太極拳等 作品展示28団体体験13団体		
点検・評価	住民の社会参加と生きがいづくり、生涯を通じた学びの提供という観点から継続が必要な事業である。市民の学習意識は高く、受講者は定期講座修了後もOBとして活動し、地域コミュニティの形成にも繋がっている。また、本市のために低額で講師を引き受けてくださる方が多く、低コストで事業を実施できている。		

事業名	中央公民館管理運営事業	担当課	生涯学習課															
事業の概要	中央公民館は設置後５０年以上が経過し、老朽化により使用を停止する施設とされている。しかし、本市がもつ質の高い社会教育資源は停止させないよう、定期講座・教室の事業は継続的に実施し、自主サークル等も従来どおりの活動が継続できるように中央公民館の機能を他の施設に潤滑に移行することで、生涯学習のさらなる推進を図る。 （施設の概要） 1F/ 事務室・生涯学習課事務室・視聴覚室・美術陶芸室 2F/ 第１・２講座室・第３講座室・第４講座室・和室①・和室②・創作室 3F/ 大ホール・控室																	
実績等	令和５年度事業費 13,963 千円 開館日数 288 日 利用者数 40,249 人 令和６年度 " 14,225 千円 " 284 日 " 27,896 人 令和６年度施設の主な利用状況 <table><tr><td>教育委員会関係</td><td>37 件</td><td>350 人</td></tr><tr><td>教育委員会以外の行政</td><td>1 件</td><td>40 人</td></tr><tr><td>地域運営組織等</td><td>13 件</td><td>163 人</td></tr><tr><td>定期講座等</td><td>336 件</td><td>5,860 人</td></tr><tr><td>自主講座</td><td>2,129 件</td><td>21,483 人</td></tr></table>			教育委員会関係	37 件	350 人	教育委員会以外の行政	1 件	40 人	地域運営組織等	13 件	163 人	定期講座等	336 件	5,860 人	自主講座	2,129 件	21,483 人
教育委員会関係	37 件	350 人																
教育委員会以外の行政	1 件	40 人																
地域運営組織等	13 件	163 人																
定期講座等	336 件	5,860 人																
自主講座	2,129 件	21,483 人																
点検・評価	利用者の活動が広がり、従来の公民館の姿を取り戻しつつあるが、高齢化する利用者の利便性や施設の老朽化が進んでいることから安全を確保するため、利用者の活動場所を他の施設へ移行することを推進している。各定期講座・教室、自主サークルやその他の諸行事の開催に有効に利用され、本市生涯学習の拠点として重要な役割を果たしているが、公民館以外の場所での活動を今後も支援し続けることが重要である。																	

事業名	文化財保護事業	担当課	生涯学習課
事業の概要	埋蔵文化財包蔵地の範囲を周知し、埋蔵文化財包蔵地における開発行為に対して、現場立会いの上、試掘調査の要否について判断している。その結果、重要な遺物・遺構の出土が見られた場合は本調査を行い、記録の作成、出土品の整理等の適正な処理を施し、埋蔵文化財の保存に努め、埋蔵文化財の破壊・散逸を未然に防止する。		

実績等	令和５年度事業費 5,042 千円 令和６年度 〃 4,518 千円 令和５年度 発掘届出件数 50 件 令和６年度 〃 42 件 ・大和高田市文化財ボランティアガイドの会 10 周年記念事業公開講座 ・「大和高田市文化財マップ」を改訂 ・「夏休み親子体験教室」（古代の鏡鑄造体験、勾玉づくり体験） 他
点検・評価	開発に伴う埋蔵文化財の発掘届出件数はやや減少した。民間の開発事業に伴う発掘調査経費は、開発事業者に協力を求めるため、コスト的には適切である。令和６年度は靴下工場の建築工事に伴い、市場遺跡・岡崎遺跡の発掘調査を実施した。調査で得られた成果や出土品は、保管するだけでなく、市内外への周知及び公開に努め、市民の歴史への理解と文化財保護意識の高揚に向けて情報発信に努めたい。

基本目標	子どもたちの笑顔あふれるまちづくり
------	-------------------

基本施策	教育環境の充実
------	---------

未来を担う子どもたちが健やかに成長していくことができるよう、確かな学力、豊かな人間性やたくましい心身の育成など、知・徳・体のバランスのとれた教育の実現に取り組めます。

事業名	幼稚園備品整備事業	担当課	教育総務課
事業の概要	園児の健全な成長を促し、教育の質の向上を図るため、備品の整備を進める。備品購入費の予算を確保し、各園の状況を考慮しつつ、優先順位の高いものから対応する。		
実績等	令和5年度事業費 395 千円 令和6年度 〃 217 千円 令和6年度主な整備備品 (園用備品) 冷蔵庫、洗濯機、テント 他		
点検・評価	限られた予算の中、各園において精査し、有用な備品の整備に努めており、概ね当初の計画どおりに執行できた。全体的に機器等の老朽化が増えており、各園の状況に合わせて修理も考慮し、段階的に改善する必要がある。		

事業名	幼稚園施設整備事業	担当課	教育総務課
事業の概要	園児の安全で健やかな成長を促進するため、園施設・設備の維持管理に努めるとともに、営繕担当の会計年度任用職員を配置し、自前修理の可能な修理・修繕にも迅速に対応する。		
実績等	令和5年度事業費 4,303 千円 令和6年度 〃 13,345 千円 令和6年度の主な整備 浮孔西幼稚園 下水切替工事 片塩幼稚園 東園庭フェンス改修工事 常光寺池周辺フェンス改修工事		

点検・評価	建物及び設備の老朽化が進んでいることから、緊急性の高い修繕箇所を洗い出し、効率的に施設整備を行うことに努めた。営繕担当職員により可能な限り修理等を行い、コストの軽減に努めている。限られた予算の中で修繕を執行し、概ね当初の計画どおりに執行し、成果があった。
-------	---

事業名	小・中学校備品整備事業	担当課	教育総務課
事業の概要	子どもたちが意欲を持ち、積極的に学習に取り組み、学力の向上と健全な育成を促すことができるよう、備品等の整備を進める。校用備品、教材用備品、理科教育設備用備品、特別支援教育用備品の各々について、学校からの要望を聴取、教育総務課で予算化、一括入札を実施、購入を行い、教育環境の整備に努める。		
実績等	令和５年度事業費 12,896 千円 児童・生徒数 3,519 人 令和６年度 〃 15,609 千円 〃 3,436 人 令和６年度の主な整備備品 （校用備品） 小学校：裁断機、シュレッダー、フロアシート、ロッカー 等 中学校：紙折り機、椅子、机 等 （教材用備品） 小学校：楽器類、メガホン、逆上がり補助器 等 中学校：楽器類、アンプ、テント、映写機付きホワイトボード 等 （理科教育設備用備品） 小学校：関節の構造模型、月の満ち欠け実験ボード、顕微鏡 等 中学校：顕微鏡、光学台 等 （特別支援学級用備品） 小学校：椅子、掃除機、トランポリン 等 中学校：ボッチャボール、多目的机 等		
点検・評価	小中学校からの要望・必要性を精査し、有用な備品の整備に努め、効率的な執行をしている。理科教育設備用備品については補助金等を活用し、概ね当初の計画どおりに執行することができた。物品の老朽化と価格高騰による影響はあるものの、今後も計画的に進めるとともに、学校現場の状況を把握し、適正管理に努める必要がある。		

事業名	小・中学校施設整備事業	担当課	教育総務課
事業の概要	児童・生徒の安全で健やかな成長を促進するため、学校施設・設備の維持管理に努める。また、営繕担当の会計年度任用職員を配置し、自前修理の可能な修理修繕に迅速に対応する。		
実績等	令和５年度事業費 77,434 千円 令和６年度 〃 88,193 千円 令和６年度の主な整備 高田小学校運動場整備工事、高田西中学校受水槽更新工事、 片塩中学校特別支援教室改修工事 他		
点検・評価	令和６年度は高田西中学校受水槽更新工事等を効率良く行うことができた。その他の工事も計画どおり執行し、成果があったと考えられる。今後は学校の統廃合の可能性があることを念頭に置き、インフラ関係を中心に修繕計画を立てていく必要がある。		

事業名	教育ＩＣＴ環境整備事業	担当課	教育総務課
事業の概要	確かな学力をより効果的に育成するため、言語活動の充実やグループ学習、文科省の掲げるＧＩＧＡスクール構想を含むＩＣＴ（情報通信技術）の積極的な活用の基礎となる環境の整備を行う。		
実績等	令和５年度事業費 76,679 千円 令和６年度 〃 77,628 千円 令和６年度の主な整備 ＧＩＧＡスクール構想に係る環境整備 令和７年度の機器更新に向けた奈良県による共同調達への参画及び ネットワークアセスメントの実施 等		
点検・評価	令和７年度のＧＩＧＡスクール構想の端末の更新及び本市のＩＣＴ環境の更新に向けた入札等の事業を行い、滞りなく機器の入替ができるよう、計画を作成した。より良いＩＣＴ環境の構築に向け、ネットワークアセスメントを実施して改善点を洗い出し、概ね当初の計画どおり執行することができた。		

事業名	学校給食業務	担当課	教育総務課
事業の概要	栄養バランスの取れたおいしい給食を提供することにより、栄養健康管理を推進し、食に関する生きた教材として、食事のあり方等について学ぶことを目的に、幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒に給食を提供する。		
実績等	令和5年度事業費 248,071 千円 年間給食総食数 730,671 食 令和6年度 〃 271,361 千円 〃 715,584 食 ・月～金曜日 週5回の給食を提供。 ・幼稚園（6園）・小学校（8校）・中学校（3校）で学校給食を実施。 ・主食(月・火・水・金曜日は米飯、木曜日はパン)と副食、牛乳の完全給食を提供。 ・無償提供ホタテの活用、地元農家との連携により、種植え・収穫を体験したトウモロコシを給食で提供。 ・「食育だより」の発行。(小中学校の児童・生徒に配布。市ホームページにも掲載。)		
点検・評価	栄養バランスや正しい食の知識を身につけ、食べる事への興味・関心を持ってもらえるよう献立に行事食や旬の食材を取り入れ、地場産物を活用した。また、「食育だより」を定期的に発行し、食材や栄養の知識をわかりやすく掲載することで食育の推進を図った。安心して給食が食べられるよう、安全・衛生面に留意して給食を提供し、概ね当初の計画どおりに執行し、成果があった。		

事業名	特別支援教育	担当課	学校教育課
事業の概要	就学指導委員会において、特別に支援を要する幼児・児童・生徒の教育相談を実施し、適正な就学を確保する。学校では、特別支援学級において子どもたちの個々のニーズに合った教育を実施している。幼稚園に加配講師、小・中学校に教育活動補助員の人員配置をし、支援の充実を図る。		
実績等	令和5年度事業費 65,309 千円 令和6年度 〃 82,720 千円 令和6年度実施の主な事業 特別支援教育担当者対象の研修会開催 特別支援校内委員会において、特別支援コーディネーターを中心に校内での職員研修会実施 等		

点検・評価	就学指導委員会において教育相談を実施し、各校の特別支援学級においても適切な指導や支援を行っており、概ね当初の計画どおりに執行できている。しかし、特別な支援を要する幼児・児童・生徒が増加しており、さらなる支援体制の充実が必要と思われる。本市の目指す特別支援教育を明確にし、より効果の上がる指導体制の構築を図る必要がある。
-------	---

事業名	外国人講師派遣事業	担当課	学校教育課
事業の概要	外国人講師による生きた外国語（英語）や外国の文化・生活習慣等に触れる機会を設けることで園児・児童・生徒の外国への興味を深め、コミュニケーション能力の向上を図る。市内各幼稚園・小学校・中学校・高等学校に外国人講師を派遣している。		
実績等	令和５年度事業費 20,070 千円 令和６年度 " 20,070 千円 令和６年度の実績（小・中学校については、児童・生徒数による） 幼稚園１園当たり ９日 小学校１校当たり 28～63 日程度 中学校１校当たり 63～98 日程度 高等学校 115 日		
点検・評価	プロポーザル方式による業者選定を導入することにより、信頼出来る外国人講師を派遣することができ、コスト面・内容面ともに安定して執行できている事業である。ネイティブスピーカーとのコミュニケーションの機会を持つことは、英語学習に対する意欲を高め、グローバルに活躍する人材の育成へと繋がることから、継続して実施する必要がある。		

事業名	幼児教育の充実	担当課	学校教育課
事業の概要	いろいろな体験や遊びを通じ、健康な体力づくりの基礎を培い、情緒的・知的な発達や社会性を育み、心豊かにたくましい子どもを育成する。また、様々な事業を通じ、保護者の子育て支援の充実を図る。		

実績等	令和5年度事業費 18,641千円 令和6年度 〃 22,153千円 令和6年度事業 わくわく子育て事業 小・中学校、保育所との交流事業 園庭開放 他
点検・評価	園児の減少は続いているが、地域の幼児教育の拠点としての役割は果たしている。市民のニーズが高い預かり保育や園庭の開放、円滑に小学校教育へ移行できるよう、小・中学校や保育所との交流を積極的に行っており、概ね計画どおり執行できている。また、保護者の子育てに関する相談や情報提供、保護者や地域住民との交流の場にもなっており、地域全体の活性化や地域住民のウェルビーイング向上においても重要な役割を果たしている。

事業名	資格取得の推進	担当課	学校教育課 (商業高校)
事業の概要	将来を担う有為な人材の育成に努め、各々の分野における生徒の能力、適性や意欲を伸ばす等、教育の多様化にも柔軟に対応し、実社会に向け確かな勤労観、職業観を持った即戦力となる人材を育成する。また、大学入試等進学にも有利になるよう、日商簿記検定、全商簿記実務検定、全商情報処理検定、全商商業経済検定、全商ビジネス文書実務検定、全商珠算・電卓検定、全商英語検定等の資格検定について、1級合格者数のアップ等、資格取得の合格率を上げるよう努める。		
実績等	令和5年度 生徒数 597名 各種検定1級延べ合格者 816名 令和6年度 〃 593名 〃 699名 令和6年度各種資格取得の状況 日商簿記検定 : 2級合格者 30名(20) 全商簿記実務検定 : 1級合格者 123名(150) 全商情報処理検定 : 1級合格者 149名(184) 全商商業経済検定 : 1級合格者 178名(188) 全商ビジネス文書実務検定(ワープロ検定) : 1級合格者 40名(28) 全商珠算・電卓検定 : 1級合格者 159名(198) 全商英語検定 : 1級合格者 32名(35) 全商検定3科目以上合格者 145名(191) 他 令和6年度進路の状況 4年制大学 73%(60) 短期大学 5%(5) 専門学校 9%(16) 就職 10%(19) ()は令和5年度		

点検・評価	生徒たちの努力と学校の積極的な取組で多くの合格者を輩出している。入学時より3冠（全商検定1級3科目）取得を目標とすることで、生徒の積極性を養い、社会に必要とされる人材の育成に努めている。時代の流れに合わせ、グローバル社会に対応できる人材育成に向け、英語教育の充実と英語検定の取得率向上にも努める。
-------	--

事業名	部活動の推進	担当課	学校教育課 (商業高校)
事業の概要	生徒には、必ずいずれかの部に所属するように指導をしており、部活動を通じ、身体的、精神的にも強く、規則正しく、礼儀正しい人間を育成することを目的とし、運動部、文化部の活動を支援し、指導の強化に努める。 運動部・・・野球、ソフトテニス、サッカー、卓球、バスケットボール、弓道、バレーボール、ソフトボール、陸上、バドミントン 文化部・・・吹奏楽、簿記、ワープロ、書道、茶道、華道、情報処理、美術、英語、珠算、家庭、アカペラ		
実績等	令和5年度生徒数 597名 令和6年度生徒数 593名 令和6年度各競技の主な成績 ソフトテニス部（男子） ・・・全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技大会 団体優勝 個人3位 国民スポーツ大会ソフトテニス少年男子の部 優勝 ハイスクールジャパンカップ シングルス 優勝 JOCジュニアオリンピックカップU17シングルス 優勝 弓道部 ・・・全国高等学校弓道選抜大会 女子団体ベスト16等		
点検・評価	運動部、文化部ともに全国規模の大会に出場できるレベルで、多くの部活動で目覚ましい活躍が見られ、成果があったと考えられる。部活動を通じた身体的、精神的に強い人間形成の成果が進学、就職にも表れ、卒業後の可能性を広げることに繋がっており、今後も更なる活躍を期待する。また、自らを向上させようとする地道な努力を評価する体制づくりにも力を入れるとともに、成長するための基礎づくりとしての部活動の役割を再認識したい。		

事業名	教育支援ルーム（かたらい教室）	担当課	教育支援課
事業の概要	心理的、情緒的な要因により不登校となった児童・生徒に対し、学校への復帰を支援するため、平成6年に開設。当初は不登校児童等への心理的支援を主な事業としていたが、平成15年度より学習支援を目的とする事業が新たに加わった。心理相談員や指導員を配置し、生徒達の実態を把握、集団生活への適応指導、適応指導に関する調査研究を通し、学校復帰及び心理的問題の解決を図るとともに、学校へ臨床心理士、指導員を派遣している。また、いじめ等への教育アドバイザーによる電話相談等の教育支援を行っている。令和6年度より名称を「適応指導教室」から「教育支援ルーム」に改称した。		
実績等	令和5年度事業費 22,944 千円 令和6年度 〃 36,058 千円 令和6年度 教育支援ルーム開所日数 243 日(243 日) 〃 在籍者数 100 名(119 名) () は令和5年度		
点検・評価	不登校児童・生徒への心理的な支援だけでなく、教育的な支援も効果を発揮し、概ね当初の計画どおりに執行し、成果があった。大和高田市教育支援ルーム設置規則の中で職務分担や対象者の定義、手続き等を定めており、事業を円滑に運用することができている。学びの多様性が急速に広がっていることから、学ぶ場の選択肢の一つとして教育支援ルームが担う役割は大きく、指導員の確保と質の向上、内容の精査が必要である。		

事業名	青少年補導員活動事業	担当課	教育支援課
事業の概要	青少年の問題行動を未然に防止するため、巡視活動を行うとともに、各種の事故防止活動の推進を図り、青少年の健全な育成、指導にあたる。		
実績等	令和5年度事業費 169 千円 令和6年度 〃 402 千円 令和6年度 行事・研修会回数 28 回(24) 延べ参加人数 664 人(628) () は令和5年度		

点検・評価	青少年に悪影響を及ぼすと思われる場所を中心に継続して巡視活動を行っており、問題行動を未然に防止している。事務局と役員で連携を密に取り、子どもの見守りを強化することで少年犯罪の減少に貢献しており、概ね計画どおりに執行できている。
-------	---

事業名	青少年指導員活動事業	担当課	教育支援課
事業の概要	市内に在住の幼児・児童・生徒を対象とし、野外活動やハイキング、レクリエーション活動等の事業を実施し、文化や自然に触れ合うことにより、次代を担う青少年の健全育成を推進する。また、研修会を開催し、指導員の資質の向上を図ることにより、事業の有効的な推進を図る。		
実績等	令和5年度事業費 225千円 延べ参加人数 108人 令和6年度 〃 225千円 〃 108人 行事・研修会開催回数 16回（15） （ ）は令和5年度		
点検・評価	経験豊富な指導員により、効率化を図りながら事業の運営ができています。野外活動等の催しを行うとともに、青少年指導員の能力維持、資質向上のための会議や研修を継続して行った。今後の課題は、行事の参加者が将来、指導員として活躍できる仕組みを構築し、事業の継続性を担保することである。		

事業名	教育の日・大和高田市青少年健全育成研修会	担当課	教育支援課
事業の概要	教育に対する意識や関心を高めるとともに、家庭・地域社会及び学校がより一層連携を深め、教育の充実を図るため、研修会を開催し、今後の青少年育成の資質向上を図る手がかかりとする。		
実績等	令和6年度事業の実績 教育の日・大和高田市青少年健全育成研修会 参加人数 66人 『性暴力の理解～子どもを性被害者にも性加害者にもさせないために～』		
点検・評価	一般市民に参加を呼びかける形で開催。内容についても大変好評で、参加者のニーズと合致していたと思われる。今後、幅広い層の受講者の参加を促すために、開催時間、託児体制等を考慮した準備が必要である。		

事業名	青少年健全育成支援教室	担当課	教育支援課
事業の概要	教育に対する意識や関心を高めるとともに、家庭・地域社会及び学校がより一層連携を深めるため、体験教室を開催し、今後の青少年育成の資質向上を図る。		
実績等	令和6年度事業の実績 大和高田市子育て支援教室「漫画体験～どんな眼を描こうかな～」 講師：漫画家 橋本スズヒラさん（本市出身） 参加人数 21人		
点検・評価	講師や漫画に対する関心が高かった教室で、参加者の意欲が高く、市民のニーズにあった事業であったと考えられ、当初の計画どおりに執行することができた。今後も市民のニーズを把握し、企画・立案することで、参加者の増加を目指す。		

事業名	図書館運営事業	担当課	生涯学習課
事業の概要	市民の誰もが利用できる「学びの場」として、「本との出会い、人との出会い」を大切にし、市民が「心の豊かさ、生きがい」を得、学習意欲を高められるよう情報の提供を行い、「暮らしの中にある、役立つ図書館」として有効に機能できるよう管理運営に努める。県内外他市町村公立図書館との相互貸出サービスやリクエストによる本の購入、本の予約制度、生後4ヶ月健診児へのブックスタートライブラリーの配布等の事業を積極的に展開する。また、インターネットによる蔵書の検索サービスを提供、ネット上で蔵書の有無、予約の状況等の照会が可能となっている。		
実績等	令和5年度事業費 58,945千円 令和6年度 〃 49,119千円 令和6年度 個人貸出者数 51,484人 (51,030人) 個人貸出冊数 182,410冊 (180,198冊) () は令和5年度		
点検・評価	指定管理者制度により、効率的な運用ができている。貸出冊数、貸出者数ともに前年度より増加し、様々な催しも開催していることから、市民の生涯学習の場として、また学習意欲の向上を支援する場として役立っていることがうかがえる。		

事業名	学校・地域パートナーシップ事業	担当課	生涯学習課
事業の概要	各学校に地域学校協働本部を設置し、地域住民等の幅広い参画を得て、地域学校協働活動、教育支援活動、学習支援・体験活動を進める。		
実績等	令和5年度事業費 7,020 千円 令和6年度 〃 7,131 千円 地域ふれあい活動体験事業実行委員会により夏休み・冬休みに「チャレンジ教室」を開催。 ・水彩画教室（22名）・オカリナ教室（11名）・宿題タイム（8名） ・体幹トレーニング（26名）・クッキング教室（14名） ・ソフトバレーボール（25名）		
点検・評価	「地域と共にある学校づくり」を推進するため、地域住民からの協力を得て幅広い活動を行った。児童数が減少する中、地域の力を借りることは重要で、地域コーディネーターの育成や地域未来塾実施校が増加した。		

基本施策

子育て支援体制の充実

すべての子どもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長し、「子どもの最善の利益」が実現されるよう、多様化する価値観、ニーズに応じた子育て支援サービス（保育サービス、子育て家庭に対するサービスなど）を充実させ、安心して子育てができる環境づくりを推進します。

事業名	就学援助および特別支援教育就学奨励事業	担当課	学校教育課
事業の概要	経済的に困窮する世帯の子ども等すべての子どもに等しく学校教育が受けられるよう支援を行う。また、特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力に応じて就学に必要な経費を負担する。		
実績等	令和5年度事業費 32,809 千円 令和6年度事業費 43,338 千円	援助児童・生徒数 668 人 援助児童・生徒数 650 人	
点検・評価	令和6年度より市外からの転入者が就学援助費を申請する際、マイナンバーを利用した照会を可能にしたことから、保護者の負担軽減及び事務の効率化を図ることができ、概ね当初の計画どおり執行することができた。今後も引き続き状況に応じた細やかな対応を視野に入れ、対象世帯に対して適正な支給事務を進める。特別支援教育就学奨励費についてもマイナンバー照会ができるよう、更なる利便性の向上を目指している。		

基本目標	健康でいきいきと暮らせるまちづくり
------	-------------------

基本施策	地域福祉の推進
------	---------

地域福祉推進の主体である地域住民等の参加を得て、地域生活課題を明らかにするとともに、その解決のために必要となる施策の内容などについて、庁内関係部局はもとより、多様な関係機関や、専門職も含めて協議の上、すでにある他の計画を踏まえた「大和高田市地域福祉計画」を策定し、地域福祉の推進に向けた取組を進めます。

事業名	若者の居場所づくり事業	担当課	教育支援課
事業の概要	若者の地域社会への帰属意識及び自己肯定感の向上を図るため、若者の居場所を提供することにより、地域社会からの孤立の防止を目的とする。対象は、市内在住の40歳未満で、義務教育を終了した後、中途退学や早期離職等により社会的孤立のおそれがある者としており、社会福祉課の事務の補助執行という形で実施している。		
実績等	令和6年度事業費 1,149千円（1,143千円） ヒサかた・ヒサ会実施回数 54回（53回） 参加者数 204人（229人） （ ）内は令和5年度		
点検・評価	概ね当初の計画どおりに執行できている。心理相談員を配置する等、より効果的な支援を検討しながら実施できしており、中学卒業後の居場所として定着している。専門的知識を有する人材の確保が困難な状況ではあるが、今後は、専門的知識を有する人材の確保及び市長部局や関係機関が一体となったプラットフォーム作りについて検討の余地がある。		